

新世紀エヴァンゲリオン劇場版 シト新生



少年は苦悩する。「何故、殺した!？」

NO LIEGE: DEATH
AND
EVANGELION: REBIRTH

原作・脚本・総監督 庵野秀明

制作 PRODUCTION I.G / GAINAX ©1997 GAINAX / EVA製作委員会



サードインパクト

第三の衝撃『エヴァンゲリオン』劇場を直撃!! 全ての謎が、今、解き明かされる!!

かつて、二つの強烈な衝撃がアニメファンを襲った。

1974年「宇宙戦艦ヤマト」。

1979年「機動戦士ガンダム」。

この二つのタイトルは社会を巻き込み、一大ブームを巻き起こした。

そして、1995年。

サードインパクト

15年ぶりにアニメ界を、三度目の強烈な衝撃が襲った。「新世紀エヴァンゲリオン」である。

『新世紀エヴァンゲリオン』は'95年10月より'96年3月にわたり、テレビ東京系列にてTV放映されるやアニメファンを熱狂させ、大反響を巻き起こした。

主題歌のシングルCD（キングレコード）は計80万枚、サントラ盤は各タイトル30万近い数字を記録。TV版を取めたビデオ・LD（現在は10巻まで発売）は、1タイトル平均22万本、合計200万本突破の驚異的売上が記録した。また、コミックス（角川書店

『少年エース』連載）3巻で300万部突破、フィルムブックは全9巻で300万部を記録、プラモデル（バンダイ）も全国で売り切れ続出の状態が続いている。この異常ともいえる人気はTV放映が終わって半年以上たった現在も持続しており、まさに時代のエポックメーキング。文字通り「ヤマト」「ガンダム」以来のヒット作となった。

ハイクオリティな作画と魅力的で多彩なキャラクター群像、魅惑的なSF設定、生々しいドラマ、ダイナミックな戦闘シーン、斬新な画面構成、キリスト教や精神分析学をドラマ本編に取り入れる術学趣味、重厚な音楽、超高密度の情報量。そのどれもとてつもない従来のアニメの枠を遥かに越えた「新世紀」のタイトルに相応しい作品であった。さらに未完ともいえる衝撃の結末は、ファンの間で賛否両論入り交えた議論を呼び、その人気に拍車をかける事になった。

今回の初の劇場用アニメーション「新世紀エヴァンゲリオン劇場版 シト新生」は、TV版を再編集し、さらに新作カットを加えた《総集編》的内容の「EVANGELION DEATH」と、新たにクライマックスシーンを描きなおした《完結編》にあたる「EVANGELION REBIRTH」の2本から構成されている。

原作・脚本・総監督はTVシリーズ同様に、ファンにカルト的な人気を持つ、庵野秀明。今回の映画化では庵野総監督以下、キャラクターデザインの本真義行、メカニックデザインの山下いくと、監督の摩砂雪、鶴巻和哉のほか、TVシリーズを支えてきた精鋭スタッフが集結。アニメファン、SFファンの熱い期待に応え、スケールアップした新しいエヴァが大スクリーンで甦る。さらに、TVシリーズで提示された「エヴァンゲリオン」の総ての謎が解き明かされる。

君は今、「エヴァンゲリオン」の真実を見る……。

用語集

エヴァンゲリオン

14年の歳月と天文学的費用を投じて建造された汎用人型決戦兵器。各地のネルフ支部で建造が進められているが、実際に投入されているのは、零号機、初号機、弐号機の3体。EVAと呼ばれる事も多い。

使徒

人類を脅かす謎の存在。超科学的な能力を持ち、様々な容姿、形態、攻撃手段で人類に迫る。その目的、行動原理など一切不明。人類補完委員会も、それぞれの使徒をサキエル、シャリエル、ラミエル等、キリスト教における「天使」の名で呼んでいる。

特務機関ネルフ

「国連直轄の特務機関」。使徒の調査、研究、殲滅を目的として結成された。

世界各地に支部があり、第3新東京市の地下のジオフロント（大深度地下都市）内にあるのが本部である。その存在は、使徒同様、一般には、ほとんど知らされていない。

第3新東京市

本作品の主舞台となる都市。現在の神奈川県横浜市に位置する。一般には新しい日本の首都都市として認識されているが、その実体は地下に大規模なジオフロント都市を持ち、その中央に特務機関ネルフの本部を擁する、使徒迎撃の要塞都市である。

人類補完計画

碇ゲンドウが責任者となって推進させている、ネルフ内部でも極秘の計画。実は特務機関ネルフの本目的は、この計画であるらしい。ネルフは国連の直轄機関ではあるが、実際には「人類補完委員会」なる組織が行動方針の決定権を掌握している。

セカンド・インパクト

西暦2000年9月13日、未知起こった世界規模の異常。これにより人類は約半数の同胞を失った。一般には、巨大隕石の落下によるものと報道されているが、実は南極で第1の使徒アダムによって引き起こされたものであるらしい。

死海文書

1947年に、イスラエルの湖「死海」西岸の洞窟から発見された古文書。キリスト教を根本から揺るがす内容が書かれているために未公開となっている文書がある、という説もある。人類補完委員会はこの「死海文書」の記述に従い、EVAを建造し使徒との戦いを繰り広げているらしい。

生は、死の始まり。 死は、現実の続き。

新時代のクリエイター集団 ガイナックス

GAINAXが設立されて、今年で13年目である。

この間に、GAINAXが制作したアニメ作品は、劇場作品「オネアミスの翼 王立宇宙軍」(87年)、OVA「トップをねらえ！」(88年)、TVアニメ「ふしぎの海のナディア」(90年)、そして、この「新世紀エヴァンゲリオン」(95年)と、数えるほどしかない。

「質より量」が優先されがちな商業アニメの世界において、何という算作ぶりであろうか。だが、そのGAINAXが制作したアニメ作品の殆どが、高い評価を受けた作品、あるいはアニメファンに強く支持された作品なのである。

最先端の技術と洗練されたセンス、高いクオリティとマニアックな作風、異才揃いのスタッフ、徹底したアーティスト中心の制作方針……。GAINAXは、あらゆる意味において突出した個性を持つクリエイター集団なのである。

そもそもGAINAXは、オリジナル劇場長編アニメーション映画「王立宇宙軍」の制作のために結成された組織である。設立当時の中心メンバーはほとんどが20代。アマチュアフィルムで活躍していたとはいえ、その殆どが、プロの仕事の経験のない若者達だった。だが、「王立宇宙軍」は当時としては、空前のクオリティを持つフィルムとして完成。テーマ的にも、ドラマ的にも、それまでの日本の商業アニメには見られない内容を持つ、意欲的な作品であった。このフィルムで、すでに彼等の才能と個性の強さは証明されたと言っている。

さらに、GAINAXは、ハードディとハードSFを融合させた「トップをねらえ！」、SF連続冒険活劇「ふしぎの海のナディア」でアニメファンのハートをつかみ、「新世紀エヴァンゲリオン」で、その人気を不動のものとした。

また、GAINAXは、設立当初から、アニメの企画・制作だけに止まらず、パソコンゲームの企画・制作、CD-ROMや本の出版、キャラクターモデルなどの各種キャラクターグッズの企画・制作・販売、パソコン通信「GAINAX-NET」、「ガイナ祭」等のイベント等、意欲的に多方面での活動を続けている。

例えば、パソコンゲームにおいては、現在空前のブームと化している育成シミュレーションゲームの草分け作品となった「プリンセスメーカースシリーズ」を発表、ゲーム界に新風を巻き起こした。

GAINAXは、今やアニメの世界で、いや、若者向けのメディアの世界で、最も注目される存在であると言っているだろう。

映画「新世紀エヴァンゲリオン」はGAINAXにとっては、「王立宇宙軍」公開以来、10年ぶりの劇場作品となる。

GAINAXの記念碑的作品に、そして、日本のアニメーションの新しい第一歩になる事だろう。

庵野秀明 原作・脚本・総監督

代表作は「新世紀エヴァンゲリオン」「トップをねらえ！」「ふしぎの海のナディア」。

その作品は、常に、カルト的と言ってもよいほどの強い個性と、魅力を持っている。特に「新世紀エヴァンゲリオン」は、企画・原案的段階から、彼を中心に制作が進められており、テーマ、モチーフ、作劇、画面構成と、ほとんどあらゆる面が、彼の個性で彩られていると言っている。

また、アニメーターとしての才能も飛び抜けており、彼が作画した「嵐の谷のナウシカ」の巨神船のシーンや「王立宇宙軍」のロケット打ち上げのシーンなどは、今もファンの間でも語り草となっている。

1960年5月22日生まれ、山口県出身。ガイナックス所属。

真本義行 キャラクターデザイン

代表作は「新世紀エヴァンゲリオン」「王立宇宙軍」「ふしぎの海のナディア」。

卓越した画力、シャープな線感でありながら温かみを感じさせるタッチと、人間味あふれる生き生きとした表情が特徴で、多くのファンからの支持を得ている。

イラストレーターとしての腕前も素晴らしい。色彩感覚の良さと力強いタッチで、人気を集めている。94年12月には、ガイナックスよりCD-ROMの映画も発売された。

また、漫画家としての顔も持っており、現在も「新世紀エヴァンゲリオン」の漫画版を「月刊少年エース」で好評連載中である。

1962年1月29日生まれ、山口県出身。ガイナックス所属。

山下いくと メカニックデザイン

名古屋芸術大学在学中よりメカニックイラストや漫画作品を発表。確かな世界観に裏付けられる大胆なデザインラインがマニアに注目されるクリエイター。「新世紀エヴァンゲリオン」では、メインメカニックのデザインを担当。

ガイナックスの作品では「トップをねらえ！」「ふしぎの海のナディア」にもメカニックデザイナーとして参加。

コミックの著作「ダークウィスパー」。現在は「嵐のゆえ」をコミック誌「電撃大王」に連載中。

1965年生まれ、岐阜県出身。

STAFF

製作 角川歴彦/池田碩夫/山賀博之/倉益琢真 ■ 企画・原作 GAINAX ■ 原作・脚本・総監督 庵野秀明 ■ 監督 摩砂雪/鶴巻和哉 ■ キャラクターデザイン 真本義行 (コミック:月刊少年エース連載/角川書店刊) ■ メカニックデザイン 山下いくと/本田雄 ■ 絵コンテ 鶴巻和哉/樋口真嗣/摩砂雪/碓井真一/庵野秀明 ■ 作画監督 本田雄/鈴木俊二 ■ 美術監督 加藤浩 ■ 色彩設定 高星晴美 ■ 撮影監督 白井久男 ■ 音楽 鷺巣詩郎 ■ 主題歌 高橋洋子 (オリジナル・サウンドトラック盤:キングレコード) ■ 音響監督 田中英行 ■ 音響制作 オーディオタナカ ■ 制作プロデューサー 石川光久 ■ 制作 PRODUCTION I.G/GAINAX

CAST

碇シンジ 緒方恵美 ■ 葛城ミサト 三石琴乃 ■ 赤木リツコ 山口由里子 ■ 綾波レイ 林原めぐみ ■ 惣流・アスカ・ラングレー 宮村優子 ■ 渚カヲル 石田 彰 ■ 加持リョウジ 山寺宏一 ■ 冬月コウジ 川村元寿 ■ 碇ゲンドウ 立木文彦

EVA製作委員会作品 記号: 映映 ©1997 GAINAX・EVA製作委員会

'97春ロードショー 真本義行描きおろしポスター付前売券発売中!

渋谷東急文化会館5階
渋谷東急
03(340)77029

歌舞伎町明り/座隣り
新宿東急
03(3200)1981

池袋東口・サンシャイン60階隣り
シネマサンシャイン
03(3982)6101

吉祥寺北口・サンロード西・西友先
吉祥寺パウスター
0422(22)3555

伊勢佐木町3丁目・にっかつ会館6F
横浜オスカー
045(261)7378

多摩川ヨシアター
厚木シネマロード
0423(86)1080
0423(86)7143